

2 おめでとう! 東町小学校体育館の落成式



3月13日、東町小学校の体育館落成式が行われました。教育委員会、工事関係者等多くの方のご尽力により、大変立派な体育館が完成しました。真新しい木の香りやLEDの明るい照明に包まれて、子どもたちがとても嬉しそうにしていたのが印象的でした。6年生の卒業式が楽しみです。



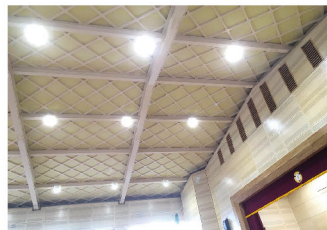
全校生徒の前で完成報告をされる校長先生



東町校区自治協議会長と一緒に



避難所となることを考慮し、柱毎に間接照明用のライトを設置



LEDは小型で明るく落下防止の処置がなされている

3 若者よ! 「己の立つ処、深く掘れ。そこに泉あり。」



3月10日、熊本市男女共同参画センター「はあもにい」で開催された熊本市自衛隊入隊入校予定者激励会に参加しました。私が祝辞で述べた内容を全文、掲載します。本来は自衛隊入隊を目指す方々に贈った言葉ですが、この春、様々な形で巣立っていく全ての若者への激励メッセージとして読んでいただけたら嬉しく思います。

みなさん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました熊本市議会議員の光永邦保です。晴れて自衛隊に入隊、入校される皆様、おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。私も自衛隊のOBですので、先ほどから皆さんの表情を拝見しながら、「今、どんな気持ちだろう?」と40年以上昔を振り返りながら考えておりました。

これから皆さんは、陸海空によって多少違いがありますが、半年あるいは一年程度の基礎教育を受けてから、部隊に配置されます。入校する方はある一定期間、勉強をしてから部隊配置になります。そこからが一人前の自衛官としてのスタートになります。

自衛隊における教育は、お互いを競争させてふり落とすようなものではありません。むしろ同じ仲間を力合わせて、一歩ずつ階段を登っていくような進め方をします。不安に思う必要は全くありません。

時には、教官から厳しい指導があるかも知れません。それは教える内容が命に関わるからです。激しい言葉の奥にある、「教え」を感じ取って下さい。

明日の3月11日で8年目を迎える東日本大震災においてはもちろん、3年前の熊本地震においても、部隊に配置されたばかりの新隊員が災害派遣の現場で懸命に活動をしました。

まだ新しい迷彩服に身を包んで、不安もあったと思いますが、被災した方々から見れば、1年生もベテラン隊員も全く関係ありません。

お年寄りから手を握りしめ、「ありがとう」と言われ、負傷者を背負って、背中越しにお礼の言葉を聞いたとき、我が身が震えるような感動を覚えたと言います。「この仕事はこんなにも感謝されている」そのことを肌で感じたからだと思えます。

皆さんが自衛官の道を仕事として選んだことにより、皆さんの人生は劇的に変わります。想像してみてください。皆さんが生きてきた18年あまりは、「育てられ」「守られ」そして周囲から「支えられて」きました。これからは皆さんが「人を助け」「地域と国を守る」立場になります。その大きな変換点の入口にいま立っている訳です。人生におけるこの選択はとてつもないものです。自分の決断に自信と誇りを持っていただきたいと思えます。

また本日、ご参集いただいた保護者の皆様、ご子弟の入隊、入校、誠にありがとうございます。心よりお喜び申し上げます。私は現在、熊本県自衛隊家族会の事務局長を拝命しておりますが、是非ともこの機会に家族会への入会をお願いしたいと思います。自衛隊を最も身近なところで支える会です。宜しく願い致します。

最後に私の好きな言葉を紹介いたします。それは俳優で画家の片岡鶴太郎さんがテレビのある番組で紹介していた言葉で「己の立つ処、深く掘れ。そこに泉あり。」というものです。

時には皆さんの周囲の友達が、華やかに見えたり、気楽に見えたりすることがあるかも知れません。そんな時こそ、まず自分に与えられた仕事、自分の「足下」を掘っていただきたいと思えます。きっと得がたい成果にたどりつくことでしょう。

皆さんの「伸びゆく力」に期待し、祝辞とします。頑張ってください! 本日はおめでとうございます。(了)

光永くにやす通信

【特別号】
2019. Mar.

1 「自衛隊ルート」市電延伸に関するアンケートのお願い

2 おめでとう! 東町小学校体育館の落成式

3 春に巣立つ若者に贈るエール

プロフィール

1955年(昭和30年)1月12日 熊本市生 AB型
二人兄弟の長男。父親は自衛官として健軍駐屯地に勤務。
湖東幼稚園・健軍小学校・湖東中学校卒
済々黌高等学校・防衛大学校卒
自衛官 昭和53年~平成22年 健軍駐屯地業務隊長
観光業 平成23年~平成27年 城彩苑湧々座勤務
平成27年より、熊本市議会議員(自由民主党)

1 「自衛隊ルート」市電延伸に関するアンケートのお願い



●市電延伸を巡る議論

現在の「健軍町」電停から現在建設中の市民病院に至る市電の延伸事業が大きな山場を迎えています。第1回定例議会の予算決算委員会において、市電延伸の基本設計費6,100万円が来年度一般会計当初予算の中で認められましたが、その執行については「条件付きの一時凍結」という付帯決議がなされました。凍結解除のためには「今後市民に情報提供や意見聴取をした上で、議会の理解を得ること」が条件となっており、更なる納得のいく説明を求め、という形で熊本市側に一旦ボールが投げ返されたものです。私自身、この市電延伸事業については地域の自治協議会長の方々と一緒に昨年11月に陳情を行ったばかりで、これまでも一貫して本事業の実現に向け積極的に働きかけてまいりました。

しかしながら、議会の中には「他の交通事業との優先順位が不明確」「反対ではないが進め方がやや性急」等様々な意見があることも事実です。特に今回は、自民党会派内から「当初予算から市電延伸に関わる6,100万円を削除して、予算案の修正を求めるべし」との意見が出され、これを巡って会派内で激しい議論が交わされました。

その詳細を紹介することはできませんが、結果的に、私を含む東区選出議員の主張が通って「削除案」が見送られ、その代替案として「一時凍結の付帯決議」を提出することになりました。

●地域の声を延伸実現の原動力に

18名からなる自民党市議団は、全区から選出された議員で構成され、それ自体が「小さな議会」です。これからも事業の優先順位や本市の財政運営を巡っては様々な議論が交わされると思いますが、その中でしっかりと主張し、市電延伸の流れを作っていくことが私の使命だと考えています。

改めて概要を紹介すると次のとおりです。

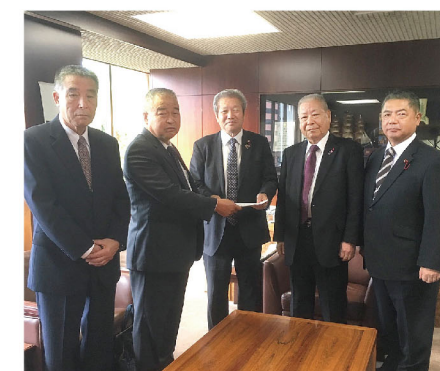
- ◆ ルート: 「健軍町」電停~自衛隊熊本病院~市民病院横
- ◆ 延長の長さ: 約1.5km
- ◆ 完成の目安: 2026年

一番の推進力は地域の皆様からの忌憚のないご意見です。

皆様の思いを反映させるために、是非とも別添のアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

また、より強い意志を表明したい方は「署名」をお願いします。もちろんこれは任意です。いただいた情報は市電延伸以外の目的には使用いたしません。皆様の本音を受け止め、全力で頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。

皆様のご意見を是非ともお聞かせ下さい。



昨年11月に行った陳情活動

